

平成19年度日本海ブロック水産業関係試験研究推進会議研究部会報告
海区水産業研究部会

日時：平成19年11月29日（木） 13：00～17：00

場所：クロスパルにいがた（新潟市）

参加機関：17機関 27名

議 事	議 事 概 要
<p>1. 報告事項</p> <p>(1) 平成18年度検討事項について</p> <p>① マコガレイのDNA解析による系群の把握</p> <p>②未利用海藻の養殖技術開発</p> <p>③開発した技術の実用化・普及について</p> <p>2) ブロック内で連携して取り組んだ研究について</p> <p>①ヒラメ分科会</p> <p>②栽培漁業資源回復等対策事業（ヒラメ広域連携調査）</p> <p>③アカアマダイ研究会（アカアマダイ栽培漁業技術検討会）</p>	<p>海区水産業研究部長を座長として議事が進められた。</p> <p>①については日水研沿岸資源研究室長，②，③については座長から以下の報告がされ，了承された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日水研所内基盤研究Bとして実施し，遺伝的分化は他の異体類にくらべて大きく，日本海沿岸と太平洋沿岸には異なる集団が存在することが示唆された。この結果については青森県には報告した。また，ブロック増養殖研究会でも報告する予定。 ・メールによる情報交換連絡網を作り，新潟県，鳥取県，島根県から情報提供の依頼があり，各機関に対応をいただいた。また，日水研と青森県からシンポジウムなどの関係情報が提供された。 ・関連する講演会を本研究部会にあわせて開催することを考えたが，講師との調整がつかず，本年度のブロック増養殖研究会に組み込むこととした。 <p>①，②については座長，③については宮津裁セ場長から以下の報告がされ，了承された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福井裁セを幹事機関として，22機関31名が参加して，11月28日午後～29日午前に新潟市で開催した。 ・北部ブロックの作業部会は5月23日に鶴岡市で開催され，中西部ブロックの作業部会は12月13日に神戸市で開催される予定。 ・平成19年3月8日，14機関25名が参加して，福岡市で開催された。19年度から栽培漁業日本海ブロック会議傘下の分科会に位置づけられる。

<p>3) 平成18年度研究実施概要及び平成19年度研究計画概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・出席した各機関から手短な報告が行われた。
<p>2. 協議事項 (1) 平成19年度水産研究開発成果情報候補課題について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・提出のあった8課題について説明と質疑が行われた。各課題に若干の加筆、修正意見があり、これらを踏まえ、できるだけ早く加筆、修正し、日本海ブロック水産業界関係研究開発推進会議に提出することとした。
<p>(2) ブロック内での研究の連携協力について</p>	
<p>① 今年の気象異常の影響について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今夏の高水温など気象異常のためと思われる沿岸域への影響について、情報収集の必要性について協議し、各府県の情報を栽培センターを含め収集し、日水研でとりまとめることとした。
<p>② 開発した技術の普及について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・経費対効果の考え方について、漁業による直接的なものだけでなく、地域経済などへの波及効果などをみる考え方について意見交換が行われた。座長から、ブロック増養殖研究会で、このような考え方を補強するための企画を行うので、各機関の協力が要請され、了承された。
<p>③ ブロック内での砂浜海域に関する連携研究について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本海域において砂浜海域、さらにその沖合域は沿岸漁業にとって重要な海域であり、今後この海域を対象とした連携協力による研究の推進のため、各機関のこの海域での調査研究の現状、ニーズを把握するため、アンケートを実施し、ブロック増養殖研究会以降協議を開始したいとの提案がなされ、了承された。
<p>3. 閉会</p>	